

事業名

「地域の名人さんから学ぶ」地域教育力の導入

目 標

地域の教育力を導入・活用することで子どもの学びを一層豊かにする。

地域の大人と子どもがともに学び、ともに感動できる地域の取組

1. 取組の視点

本校区である平城ニュータウンには様々な知識・技能を持ち、学校・園に協力的な人材が多く在住しています。この方々の協力を得て、子どもたちが価値ある体験ができるようにします。

本年度は、子どもたちが「奈良の文化・伝統のよさを知ること」「科学への関心を高めること」「体力・健康を増進・向上させること」をテーマに事業を行いました。

地域全体で一斉に取り組むもの、幼稚園と小学校、また、小学校と中学校が共同で、また、同じテーマや連続した内容でそれぞれに行うなど、内容に応じた形態で行いました。

2. 取組の概要

「奈良の文化・伝統のよさを知ること」では、奈良に伝わるミュージカル「二月堂良弁杉」を地域の和ハウスホールを借りて上演し、多くの親子連れ等、子どもからお年寄りまで幅広い方々200人の参加を得て、感動に包まれる観劇となりました。「科学への関心を高めること」では、3つの地域の夏祭りで「おもしろ理科実験教室」を開催し、幼児や児童が年齢を超えて一緒に参加し、地域の方々と子どもたちのふれあいの場となりました。その他にも、小学校、中学校でそれぞれに、理科実験教室を実施しました。「体力・健康

を増進・向上させること」については、遺跡を巡りながら本校区から平城宮跡までのウォークラリーを開催し、100人近い参加がありました。



Ⓛ ミュージカル「二月堂良弁杉」

Ⓜ 理科実験教室(中学校)

3. 成果と課題

ミュージカル「二月堂良弁杉」、ウォークラリーの計画や運営を通して、地域コーディネーターやボランティアの活動が活発化し、地域と学校・園との連携も進みました。また、この協議会の活動や地域コーディネーターやボランティアの皆さんの働きについても、多くの方々に知っていただくことができたと思われま。

これらの事業については、準備・運営等のノウハウや関係団体等とのネットワークが必要であり、年度ごとの経験を地域コーディネーターが引き継いでいくとともに、対象とする人々に広く知らせるための人のつながりづくりや広報の工夫が求められます。

また、夏祭りや各校で行われた理科実験教室は、地元の専門家の協力をいただいで、子どもたちが楽しく学ぶ機会とすることができました。中学校でも普段に学習した内容を実際に目で確かめるなど、知識と体験を結びつけた学習ができました。



ウォークラリー

事業名

学び、挑み、輝け！平城東中学校

目 標

地域の人々や社会人から学ぶ機会を増やし、体験的な活動を充実させる。
生きて働く力を身に付け、その成果を地域に発信する。

1. 取組の視点

地縁関係の薄いニュータウンの子どもたちが一緒に学ぶ仲間としての絆を深め、社会につながった活動や体験的な活動を行うことによって、生きる力、生きて働く力を身に付けられるように活動を進めてきました。1年生は、「働くこと」について、2年生は職場体験学習により「職業観・勤労観」について、3年生は、修学旅行に向けて、「平和や人権」について考える等をテーマとして調べ学習や体験的な活動を進めてきました。これらのテーマに迫るとともに、学習を通して様々な人と出会い、他人に対する思いやりにあふれた心を培い、主体的に考え行動できる力を身につけていきたいです。

また、みんなで力を合わせて「かたちあるもの」を創り上げる体験、そして創り上げたものが人の心に触れ、感動を伝えられる体験など、心に残る価値ある体験をさせたいです。そのため、普段の教科等の学習や特別活動、学校行事等の活動で得た知識や技能を基にして、学年全員が力を合わせて総合劇の創作をしたり、保護者や地域の方々が見守る中、学年合唱等で力を出し切って演じたりすることを通して自信や充実感をもたせたいと思います。

このことを進めるための環境整備のひとつとして、体育館での発表用のポータブルステージを追加購入し、豊かな表現に役立てたいと考えました。そして、取組をこれまで以上に広報することにより、地域と学校との連携、協力関係を一層強いものにしたと思います。



2. 取組の概要

本校の文化発表会で行う「学年劇」は、3年生の普段の学習や修学旅行などの行事で得た知識・技能を総合し、全員の力を結集させてひとつの総合劇を創り上げるものです。

本年度も、沖縄への修学旅行で平和の大切さや沖縄の文化を学んだりした経験や、自分たちで学習した内容に基づいて、壮大な総合劇が創り出されました。

台本を検討するチーム、音響効果、舞台美術、大・小道具、そして劇を演じる出演者の他、ダンシングチーム、合唱・演奏チームが組織され1時間あまりに渡る劇が上演されました。これらの協力・協調して行う作業を通して、生徒は大きく成長したものと思います。会場の体育館には、保護者や地域の方々が集まり、お褒めの言葉をいただき、充実感をもって行事を終えることができました。このことが生徒の成功体験となり、その後の学習にも好影響をもたらしたものと思われます。



3. 成果と課題

授業や学級での取組の毎日の積み重ねが「総合劇」という形にまとまり、共に感動を分かち合える場面をつくることができました。中学卒業後も同じ地域で暮らす生徒どうしが仲間の絆を保つことを期待します。今後さらにテーマを深く追究できるよう、効果的な指導を考えていきたいです。

事業名

心豊かに いきいき 輝く 朱雀っ子

目標

「人」「もの」「事」「地域」との様々な出会いや体験、感動を通して、感性豊かな心を育てる。

1. 取組の視点

①読書への関心意欲を高める環境作り

図書室で本を読む時間を設けたり、低学年では地域の協力を得て読み聞かせを行ったりしていますが、自ら意欲を持って図書室を利用する児童が少ないように思います。そこで、児童が喜んで図書室を多く活用するように整備・充実を目指しました。

②地域との連携

地域の人との交流が限られたものになっており、今以上に多くの方に支援していただき環境美化の充実を図りたいと考えました。

③様々な出会いや体験活動の重視

知識が豊富であるが、自然と触れ合うことが少ない状況にあるために、草花を育てる機会を多くすることで温かな心を持たせたいと考えました。また、経験豊富な人の話を聞くことで心豊かになり、キャリア教育につなげたいと考えました。

2. 取組の概要

児童が本を手にとって読みたくなるように、図書室の環境を充実していきました。地域や保護者による学校支援ボランティア（図書）の協力を得て、本の修理や分類整理をしていただきました。また、地域の人が多く参加しておられる平城東公民館の自活サークルの作品を「朱雀ギャラリー」を設け展示を行うとともに児童の作品を公民館に展示していただき交流を深めました。



自然環境について考えさせるために、以前から

指導していただいています近畿大学の北川先生から5・6年生と地域・保護者の方に「ニッポンバラタナゴの生態系」について出前授業をしていただきました。



読書への関心を高めるために低学年に月1回地域の人による読み聞かせを行い、地域の人にも参加していただき「朗天狗…しんちゃん」による読み聞かせライブをしました。天体学習、民謡教室、ゲームを通してのなかま集団作り等多くのゲストティーチャーによる出前授業を行い、様々な体験をすることができました。



栽培委員会を中心に堆肥作りに取り組み、全校一人一鉢運動を行いパンジーやチューリップを育てました。

3. 成果と課題

地域や保護者の協力により学校支援ボランティアに取り組み、図書室や校舎周辺など環境面が整い充実してきました。また、多くの人から専門的な話を聞き体験をすることで、知識だけでなく感動をおぼえ感性を磨くことにつなげることができたように思います。地域・公民館等との連携を今以上に深め、教科での学校支援をしていきたいと考えます。

読書への関心を高め豊かな心を育てるために、図書室のシステム化を行い、市立図書館との連携を強化していきたいと考えます。

事業名

地域と共に笑顔いっぱい元気いっぱい佐保台っ子

目 標

児童一人一人に様々な感動体験を通して豊かな心を育む**1. 取組の視点**

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたると共に、子どもたちに感動体験を通して魅力ある取組を行いたいと考えました。そして、地域や親子とのふれあいを支援し、地域のすばらしい人材を広い意味で活用し、連携を深めました。こういったなかで、地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育つものと思います。また、これらの活動を通して今日的な課題である情報・福祉・環境・国際理解教育の推進にも力を注いでいき、子どもたちに豊かな心を育みたいと考えています。

2. 取組の概要

具体的な活動として、環境美化活動、図書館活動、パソコン学習、福祉体験学習を地域の方やゲストティーチャーの支援をいただきながら進めました。

① 環境美化活動

校内の環境美化活動の一環として、環境委員会が中心となり栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。

校外の活動として、校区にある平城山電車区の美化運動に協力し、毎年2年生が花の苗植に出かけています。

**② 図書館活動**

地域の図書ボランティアの方の協力を得て、子どもたちの読書活動を推進しました。特に図書室の環境作りやブックトーク、絵本の読み聞かせにアドバイスをもらい、図書委員会の活動が大変充実したものとなりました。

**③ パソコン学習**

地域のパソコンの専門家の支援をいただき、全学年でICTを活用した学習を進めることができました。6年生が一条高校と行った世界遺産学習の交流会では、ゲストティーチャーから学んだパワーポイントを使い、高校生も驚くようなプレゼンテーションを行うことができました。

④ 福祉体験学習

福祉に関わる学習を関係諸機関等の協力を得て行いました。特に盲導犬の学習では、目に障害を持っておられる講師の方から直接お話を聞くことができ、より深い学習ができました。

3. 成果と課題

様々な活動、体験を地域の方の支援を得ながら進めることができ、教室だけの学習ではなかなか得難い多くの学びがありました。このような取組は、継続的に進めてこそさらに大きな効果が表れてくるものと思います。また来年度も活動内容を工夫し継続していきたいと考えます。

事業名

地域へ発信！ つながる左京

目標

左京グリーンサポートの人たちと「左京の森」で花壇を作り、植物を育てる活動を通しての交流を行う。また、地域のボランティアの方と子どもたちとの交流の機会を多く持ち、学校と地域が連携し心豊かな子どもを育成する。

1. 取組の視点

左京小学校の児童は学力面においては平均より高く、校区は新興住宅街で全般的に生活も安定している児童が多いです。

しかし、ともすれば指示待ち的な側面を感じる場面も多く、「なかま同士で温かで深くつながれた喜びや感動を味わい、左京小学校で学んでよかった。」という思いを持てる学校づくりを目指してきました。また、地域の方々の思いとしても、新興住宅地であるがゆえに、子どもたちにはこの左京地区で学び育った「ふるさととしての左京」を感じられる取組を求められています。

そこで、子どもたちの豊かな人間性や主体性は地域の方々との様々な交流の機会を持つことによって培うことができると考え、「地域へ発信！ つながる左京」のテーマのもと、「地域の中で育つ子どもたち」をコンセプトとして取組をす



「左京の森」での苗植え（クリーン左京）

すめようと考えました。

2. 取組の概要

「野鳥の森」が「左京の森」にかわり、「左京の森」では地域のグリーンボランティアの方々が「左京の森」を地域の交流の場にしようと取り組んでいます。左京小学校もその一角に季節の花を地域の方と一緒に植え、ともに育てることによって子どもたちが、「左京の森」をやすらぎのある地域との交流の場と感ずることができるように取組をすすめてきました。

また、奈良市がすすめる世界遺産学習の取組として「二月堂良弁杉」大紙芝居の公演を全校児童対象に行いました。当日は、わらべ歌遊びや手遊びも体験することができ、子どもたちにとって「奈良に学んでいることのすばらしさ」を感じる



「二月堂良弁杉」 大紙芝居公演

ことができる機会になったようです。11月1日の「奈良県教育の日」には～子どもをいかに地域・親のかかわり～という演題で「左京小教育講演会」を行いました。地域・家庭・学校の三者が共に連携し、子どもを育てることの重要性を再認識できました。また、休み時間に子どもたちと地域の方が触れ合う「ふれあい夢スクール」の活動を地域の方の協力のもと1年間計画的に実施しました。

3. 成果と課題

今年度は「地域へ発信！ つながる左京」のテーマのもと、地域の方々との交流を主なねらいとして取組をすすめてきました。「左京の森」での左京グリーンサポートの方との交流や地域のボランティアの方との様々な交流を通して、子どもたちに豊かな心やコミュニケーション力を培うことができました。地域の中で育つ子どもの育成というねらいは単年度の取組で顕著な成果が出るものではないが、今後も取組や活動を継続することによって、自分たちが生まれ育ってきた地域に自信や誇りを持つ児童の育成に努めていきたいです。

事業名

心身ともに健やかで心豊かな幼児を育てる

目標

のびのびと体を動かす心地よさをあじわう。

絵本や物語音楽鑑賞などに親しみ、実際に見たり触れたりして感じる心を育てていく。

1. 取組の視点

人格形成の基礎が培われる幼児期に、感動体験を味わうことで感じる心が育ち豊かな心が育まれます。

本事業は、「心身ともに健やかで心豊かな幼児を育てる」と設定し、子ども達が身近な環境に関わり実際に見て触れて感じる心を育む体験を積み重ねていきます。

- ・ 体を十分動かして遊び、やる気やチャレンジする心をもって意欲的に遊ぶ。
- ・ いろいろな人のお話や音楽などを聞いて、心を豊かにし表現意欲を育てる。
- ・ 幼稚園、小学校が連携し、地域の方や保護者の協力を得て楽しい園作りに努める。

2. 取組の概要

〈ようこそ七夕コンサートへ〉

マリンバ演奏の先生を招いて七夕コンサートを行いました。万年青年クラブの方や、未就園児と一緒に歌ったり音楽を聞いたりして共に楽しいひと時を過ごしました。



〈アスレチックで遊ぼう〉

ボランティアで、手作りのアスレチックを作ってくださいました。園児は心をワクワクさせて遊び、体を動かして遊ぶ心地よさを十分味わっています。また、この場に自然と友だちが集まり友だち同士が触れ合い、繋がる場になっています。



〈みんなで遊ぼう 3B体操〉

土曜参観に、3B体操の講師先生を招き、親子でリズムカルな動きや楽しい運動遊びをして触れ合い、楽しさを共有することができました。

〈朱雀お話の会〉

地域の方にパネルシアター、手遊び、絵本の読み聞かせ、素話、腹話術などをしていただき話を聞く態度が育ち、お話の世界に心を膨らませてワクワク、ドキドキしながら楽しみました。園児達は、地域の方の温かい人柄を感じ取り、イメージを広げ心を豊かにしました。



〈幼稚園、小学校がもっと美しくなったよ〉

コーディネーターさんを中心に、学校支援ボランティアの方による幼稚園・小学校の草刈、剪定、側溝の清掃活動に協力していただきました。さらに幼稚園、小学校、地域が一体となって子どもを育てていく体制作りをしていきます。



3. 成果と課題

本年の事業をさらに継続して子ども達の笑顔がたくさん見られる園にすると共に、未就園児や地域の高齢者の方々をどんどん幼稚園に招き、幼稚園を知っていただくようにします。また、保護者には園生活の様子や子どもの育ちを感じられるように写真を掲示したり保育参観や保育参加を通して発信していきたいです。

事業名

笑顔がいっぱい 佐保台っ子

目 標

感動体験を積み重ね、豊かな心を育てる。

1. 取組の視点

「進んで活動し、みんなで楽しさを味わえる幼児の育成」を目標に心身ともに健康で生き生き活動する子・自然を愛し、生命の尊さを知る子・よく考え、最後までやり遂げる子・友だちと仲良く遊ぶ子を目指し、保育に努めています。しかし、小規模園であり、園児も少なく、大半が核家族であり、人との関わりや友だちと一緒に遊ぶ経験が乏しいように思われます。そこで、保護者や地域の方々の協力を得て、多様な経験を積み重ねるとともに様々な人とのふれあい（親子・未就園児親子・地域の方々・他園・中学校区内の小中学生など）や感動経験を通して豊かな心を育てていきたいと考えました。又、本園は今年度で閉園し、「認定こども園」として再出発します。保護者・地域と連携を密にし、『みんなの佐保台幼稚園』として多くの方に参加していただき、心に残る活動になるよう心がけました。

2. 取組の概要

親子の触れ合い活動では、自然を通して豊かな心を育てる事を目指し、栽培活動に取り組みました。一緒に世話をすることで新しい発見をしたり、生長を楽しみにしたりする親子の姿が見られ、大切に育てようとする姿が伺えました。今年、保護者の方の協力で園庭に田んぼを作り、米作りにチャレンジしました。米作りの大変さも知り親子で食について話す機会が増えました。又、幼稚園の近くにある「ならやまベースキャンプ」に出かけ、『奈良・人と自然の会』の方々にリース作りや里山の自然の中での楽しみ方を教えていただき、親子で楽しい時間を共有し、自分達の住んでいる地域のよさにも気付く貴重な経験とな



<こだわりが光る世界に
一つだけのリース>

りました。

昨年度から引き続き講師を招いての親子体操は、今年、保護者や地域の方、地域の未就園児親子も参加してスキンシップ体操を楽しみました。参加した保護者や地域の方からは、「家庭ではなかなかできない経験（親子で体操をしたり、他の子どもの様子見たりする）ができてよかったです。」「乳幼児期における運動の必要性について話も聞けてよかったです。」などの声が聞かれました。子ども達や未就園児も、身近な存在のがいることで安心して体を動かすことを楽しみました。特に園児は、マットや跳び箱遊びを教してもらい「やった」「できた」という満足感を感じ、意欲的に取り組む姿が見られました。人形劇団を招いての観劇は、物語の世界にひきこまれ、目を輝かせて観ていました。その他、園内作品展・音楽会・ピアノコンサート・佐保台触れ合いまつりなど、保護者、地域の人や未就園児や小学生など、多くの方に見ていただき、それぞれの力を発揮する場となりました。未就園児や他園や小中学生との交流会では、周りの人から認められたり、励まされたりすることによって人と関わる力や思いやりなど心が育ってきています。

3. 成果と課題

自然や様々な人との触れ合いや多様な経験を通して子どもたちは、心に残る感動経験を積み重ねてきました。このような活動を通して感性が豊かに育ってきています。又、今まで育ててきた温かい人間関係や地域や保護者などの人からの愛情いっぱい育ててきた佐保台の子ども達の成長を大切にしていきたいと思



事業名

わくわく、どきどき、心豊かに育ち合う楽しい幼稚園

目標

心を動かす体験活動を通して、生き生きと活動する心豊かな幼児を育てる。

1. 取組の視点

地域全体として、子どもたちをみんなで守り育てていこうという熱意が感じられます。核家族化や少子化が進む中、家庭では習い事や家の中で遊ぶことが多く、自然体験や生活体験、友達との戸外遊びなどの直接体験による心揺さぶられる経験が減少しているように感じられます。人間形成・人格形成の基礎となる幼児期に心を動かす感動体験を計画し、心豊かに生き生きと活動する幼児を育てていきたいと考え取り組みました。

2. 取組の概要

〈 奈良の良さと出合い、もっと知ろう 〉

子どもたちは、世界遺産のある街、奈良に住んでいます。今年度は園外保育で「元興寺・庚申堂・奈良



町・音声館」に出かけました。小さいながらも自然の良さに気付いたり、大切なものを守っていかうとする思いに触れたり、豊かな情緒や感性知的好奇心が育まれるのではないかと思います。友だちと一緒にいったなあ、びっくりしたなあと感じたり思ったりした思い出や体験が「伝えていく」もとになると考えました。ボランティアさんの話術に引き込まれながら、興味をもって本物を見ることができました。

親子で伝統文化の「南京玉すだれ・皿回し」を始めて見せていただき、みんな感動しました。玉すだれや皿回しを体験した子どもたちは、やってみたく



心を動かし、遊びや生活に取り入れて楽しむことができました。試行錯誤して作った皿まわしを生活発表会でお家の方や地域の方々に見ていただき、笑顔に溢れ一人一人が生き生きと取り組む姿が見られていました。

〈 わくわく・どきどき・左京の森で遊ぼう 〉

豊かな感性を育む感動体験となるよう、左京の森での音楽会・収穫祭等、地域の方々との出合いの場・遊びの共有の場として、年間計画に位置づけ取り組んできました。授産施設「みどりの家」の方々、未就園児親子ともども楽しい遊びを共有することができました。ボランティアさんの協力を得て、地域での活動が深まりつつあることを感じています。



〈 地域の名人さん・ゲストティーチャーと共に 〉

「お茶会」・「元レスキュー隊員さんの命を守る話」・「花生け体験」・「ブックドクターのお話を聞こう」等、見て、感じて、体験して五感を通して学び、生活を豊かにすることができました。



3. 成果と課題

地域の中で、いろいろな方々と活動を通じて触れ合い、体験し、心を動かして生活する子どもたちの姿が見られました。子どもたちを取り巻く環境の中で、より豊かな感動体験ができるよう保育の創造と地域との協力体制強化にさらに努めていきたいと考えます。